（別添）

1. 構造名：

鋼製開き戸・木質系開き戸・鋼製シャッター・鋼製折りたたみ戸／複合防火設備（準耐火構造壁・床付き）

2. 構成：

本申請に係る仕様の構成等は、以下の通りとする。

(1) 鋼製シャッター、鋼製開き戸、鋼製折りたたみ戸及びエレベーター乗り場戸は、建築基準法第２条第九号の二ロに規定する防火設備又は建築基準法施行令第 112 条第１項に規定する特定防火設備特定防火設備とする（遮炎性）。

(2) 鋼製シャッターは、昭和 48 年建設省告示第 2564 号に該当する構造とする（遮煙性）。

(3) 耐熱板ガラス入り鋼製開き戸及び網入り板ガラス入鋼製開き戸は、国土交通大臣認定の防火設備（耐熱板ガラス入り鋼製はめ殺し窓（認定番号　EB-9131）と耐熱板ガラス入り鋼製開き戸認定番号　EB-9132）を組み合わせたもの）とする。

(4) 木質系開き戸は、国土交通大臣認定の防火設備（木質系開き戸　認定番号　EB-9141）とする。

(5) (3) の耐熱板ガラス入り鋼製開き戸及び網入り板ガラス入鋼製開き戸並びに (4) の木質系開き戸は、常時閉鎖式とする。

(6) 鋼製折りたたみ戸は、二枚折りたたみ戸の片開き又は両開きないしは、二枚折りたたみ戸と通常の開き戸による両開きとする。

(7) 鋼製シャッターは連装とすることができる。

(8) 鋼製シャッター、鋼製開き戸、木質系開き戸、鋼製折りたたみ戸同士又は相互の間は、準耐火構造の壁又は厚さ 0.8 ㎜以上の鋼板製の方立（中柱・可動式中柱を含む）又は袖レールとする。

(9) 鋼製開き戸及び耐熱板ガラス入り鋼製開き戸は、90 度、180 度開き及び任意角開きを含む。

(10) 鋼製折りたたみ戸は、90 度又は 180 度開きとする。

(11) 壁及び床は準耐火構造とする。

(12) 外気に向かって開くことができる窓及び排煙設備の排煙口にあっては、これを (10) の壁又は天井に設けることができる。

(13) 当仕様を構成する空間の内装の仕上げは準不燃材料とする。

(14) 当仕様を構成する空間の幅は昇降路の幅に、柱、はり、パイプスペース等平面計画上必要とするものを加えた最小限の幅とする。

(15) 当仕様を構成する空間の奥行きは、可動の乗降の空間の場合で１m程度、対面式のエレベーターのあるロビーの場合で６m以内、前記以外の場合で 4.5m以内とする。

(16) (14) 及び (15) における幅及び奥行きは、非常用エレベーターの避難階における乗降ロビーにあっては、消防隊の活動に必要な大きさとすることができる。

(17) エレベーター１列の台数は、６台までとする。

(18) 煙感知器は、消防法（昭和 23 年法律第 186 号）第 21 条の２第１項の規定による検定に合格したものとする。

(19) 連動制御器は、以下の要件を満足するものとする。

(1) 煙感知器又は熱煙複合式感知器から信号を受けた場合に自動閉鎖装置に起動指示を与えるもので、随時、制御の監視ができるもの。

(2) 火災による熱により機能に支障をきたすおそれがなく、かつ、維持管理が容易に行えるもの。

(3) 連動制御器に用いる電気配線及び電線が、次に定めるものであるもの。

（ｉ）昭和45年建設省告示第1829号第二号及び第三号に定める基準によるもの。

（ii）常用の電源の電気配線は、他の電気回路（電源に接続する部分及び消防法施行令（昭和36年政令第37号）第7条第3項第一号に規定する自動火災報知設備の中継器又は受信機に接続する部分を除く。）に接続しないもので、かつ、配電盤又は分電盤の階別主開閉器の電源側で分岐しているもの。

(20) 自動閉鎖装置は、以下の要件を満足するものとする。

(1) 連動制御器から起動指示を受けた場合に鋼製開き戸を自動的に閉鎖させるもの。

(2) 自動閉鎖装置に用いる電気配線及び電線が、上記 (19) の (3) に定めるものであるもの。

(21) 予備電源は、昭和45年建設省告示第1829号第四号に定める基準によるものであること。

(22) 本仕様に用いられる気密材については、使用頻度等により所要の性能が損なわれる恐れがある

為、十分維持保全を行うものとする。

(23) 当該防火設備内に物品が置かれると、所要の性能が損なわれる恐れがある為、十分維持管理を行うものとする。

申請仕様の空間構成の代表例を図１～７に示す。
なお、図中の記号は、以下の通りとする。
SS: 鋼製シャッター
SD: 鋼製折りたたみ戸
0002: 鋼製開き戸
0003: 耐熱板ガラス入り鋼製開き戸
0004: 木質系開き戸
0014: 網入り板ガラス入り鋼製開き戸

設置場所（１）－１　非常時に空間（乗場戸から１ｍ程度）を形成する場合

図１　空間配置図

設置場所（１）－２　非常時に空間（乗場戸から０．３ｍを超え１ｍ程度）を形成する場合

設置場所（２）－１　乗降ロビーを設ける場合（乗場戸の正面に防火設備）

図２　空間配置図

設置場所（２）－２　乗降ロビーを設ける場合（エレベーター片面、防火設備片側）

設置場所（２）－３　乗降ロビーを設ける場合（エレベーター片面、防火設備両側）

図３　空間配置図

設置場所（２）－３　乗降ロビーを設ける場合（エレベーター片面、防火設備両側）（続）

設置場所（２）－４　乗降ロビーを設ける場合（エレベーター対面、防火設備片側）

図４　空間配置図

設置場所（２）－４　乗降ロビーを設ける場合（エレベーター対面、防火設備片側）（続）

設置場所（２）－５　乗降ロビーを設ける場合（エレベーター対面、防火設備両側）

図５　空間配置図

設置場所（２）－５　乗降ロビーを設ける場合（エレベーター両面、防火設備両側）（続）

設置場所（２）－６　乗降ロビーを設ける場合（エレベーター対面、防火設備片側）

図６　空間配置図

設置場所（２）－７　乗降ロビーを設ける場合（エレベーター両面、防火設備両側）

図７　空間配置図

3. 防火戸部の寸法：

(1)　鋼製開き戸（ガラスなし）

申請仕様の寸法を表１に示す。

表１　申請仕様の寸法

項　　目		申　請　仕　様	
常時閉鎖の場合			
		片開き	両開き
開口幅　(W)		750～1400mm	1500～2800mm
戸枠幅　(WW)		830mm以上	1580mm以上
扉高さ　(DH)		1802～3752mm	1802～3752mm
開口高さ　(H)		1800～3750mm	1800～3750mm
扉幅　(DW)		773～1423mm	759～1409mm
扉厚　(DT)		40mm以上	40mm以上
戸枠高さ　(HH)		1840mm以上	1840mm以上
枠見込み寸法　(w)		80mm以上	80mm以上
周壁部の仕様	(下部)	湿式工法（モルタル等）	
	(三方)	湿式工法（モルタル等） 乾式工法（繊維混入けい酸カルシウム板等）	
随時閉鎖の場合			
		片開き	両開き
開口幅　(W)		750～1400mm	1500～2800mm
戸枠幅　(WW)		919～1569mm	1748～3048mm
扉高さ　(DH)		2000～5003mm	2000～5003mm
開口高さ　(H)		2000～5003mm	2000～5003mm
扉幅　(DW)		836～1486mm	821～1471mm
扉厚　(DT)		40mm以上	55mm以上
戸枠高さ　(HH)		2040mm以上	2040mm以上
枠見込み寸法　(w)		80mm以上	100mm以上
周壁部の仕様	(下部)	湿式工法（モルタル等）	
	(三方)	湿式工法（モルタル等） 乾式工法（繊維混入けい酸カルシウム板等）	
随時閉鎖の場合（避難用子扉付き）			
		片開き	両開き
扉部開口幅　(W)		950～3000mm	1900～6000mm
戸枠幅　(WW)		1119～3169mm	2148～6248mm
扉高さ　(DH)		2000～5003mm	2000～5003mm
扉部開口高さ　(H)		2000～5003mm	2000～5003mm
扉幅　(DW)		1034～3084mm	1021～3071mm
扉厚　(DT)		55mm以上	55mm以上
戸枠高さ　(HH)		2040mm以上	2040mm以上
枠見込み寸法　(w)		100mm以上	100mm以上
避難用子扉	開口幅　(EW)	750mm以上	750mm以上
	開口高さ　(EH)	1800mm以上	1800mm以上
	扉高さ　(EDH)	1801mm以上	1801mm以上
	扉幅　(EDW)	826mm以上	826mm以上
	扉厚　(EDT)	40mm以上	40mm以上
周壁部の仕様	(下部)	湿式工法（モルタル等）	
	(三方)	湿式工法（モルタル等） 乾式工法（繊維混入けい酸カルシウム板等）	

(2)　ガラス入り鋼製開き戸（耐熱板ガラス入り鋼製開き戸又は網入り板ガラス入り鋼製開き戸）
申請仕様の寸法を表２に示す。

表２　申請仕様の寸法

項　　目		申　請　仕　様			
両開き					
		①	②	③	④
開口幅		1500～4800mm	1500～4800mm	1500～3600mm	1500～2400mm
開口高さ		1800～3600mm	1800～2400mm	1800～2400mm	1800～2400mm
扉部開口幅	(W)	1500～2400mm	1500～2400mm	1500～2400mm	1500～2400mm
戸枠幅	(WW)	1550～4850mm	1550～4850mm	1550～3665mm	1550～2480mm
扉幅	(DW1，DW2)	759～1209mm	759～1209mm	759～1209mm	759～1209mm
扉厚	(DT)	45mm以上	45mm以上	45mm以上	45mm以上
扉部開口高さ	(H)	1800～2400mm	1800～2400mm	1800～2400mm	1800～2400mm
戸枠高さ	(HH)	1840～3625mm	1840～2440mm	1840～2440mm	1840～2440mm
扉高さ	(DH)	1802～2402mm	1802～2402mm	1802～2402mm	1802～2402mm
扉部ガラス幅	(GDW1，GDW2)	559～809mm	559～809mm	559～809mm	559～809mm
扉部ガラス高さ	(GDH)	1602～2202mm	1602～2202mm	1602～2202mm	1602～2202mm
枠見込み寸法	(w)	100mm以上	100mm以上	100mm以上	100mm以上
周壁部の仕様	(下部)	湿式工法（モルタル等）			
	(三方)	湿式工法（モルタル等） 乾式工法（繊維混入けい酸カルシウム板等）			
片開き					
		⑤	⑥	⑦	⑧
開口幅		750～3600mm	750～3600mm	750～2400mm	750～1200mm
開口高さ		1800～3600mm	1800～2400mm	1800～2400mm	1800～2400mm
扉部開口幅	(W)	750～1200mm	750～1200mm	750～1200mm	750～1200mm
戸枠幅	(WW)	830～3650mm	830～3650mm	830～2465mm	830～1280mm
扉幅	(DW)	773～1223mm	773～1223mm	773～1223mm	773～1223mm
扉厚	(DT)	45mm以上	45mm以上	45mm以上	45mm以上
扉部開口高さ	(H)	1800～2400mm	1800～2400mm	1800～2400mm	1800～2400mm
戸枠高さ	(HH)	1840～3625mm	1840～2440mm	1840～2440mm	1840～2440mm
扉高さ	(DH)	1802～2402mm	1802～2402mm	1802～2402mm	1802～2402mm
扉部ガラス幅	(GDW)	573～1023mm	573～1023mm	573～1023mm	573～1023mm
扉部ガラス高さ	(GDH)	1602～2202mm	1602～2202mm	1602～2202mm	1602～2202mm
枠見込み寸法	(w)	100mm以上	100mm以上	100mm以上	100mm以上
周壁部の仕様	(下部)	湿式工法（モルタル等）			
	(三方)	湿式工法（モルタル等） 乾式工法（繊維混入けい酸カルシウム板等）			

両開き　①～④

単位　mm

①
25以上
3
60以下
DH
H
HH
10以下
45以上
nwa
nw1
45以上
3 6 3
25以上
W
25以上
60以上
60以上
WW

②
40以上
3
DH
H
HH
10以下
45以上
nwa
nw1
45以上
3 6 3
25以上
W
25以上
60以上
60以上
WW

③
40以上
3
DH
H
HH
10以下
45以上
nwa
nw1
25以上
3 6 3
25以上
W
40以上
60以上
WW

④
40以上
3
DH
H
HH
10以下
25以上
nwa
nw1
25以上
3 6 3
40以上
W
40以上
WW

片開き　⑤～⑧

単位　mm

⑤
25以上
3
60以上
DH
H
HH
10以下
45以上
DW
45以上
3
4
25以上
W
25以上
60以上
60以上
WW

⑥
40以上
3
DH
H
HH
10以下
45以上
DW
45以上
3
4
25以上
W
25以上
60以上
60以上
WW

⑦
40以上
3
DH
H
HH
10以下
45以上
DW
25以上
3
4
25以上
W
40以上
60
WW

⑧
40以上
3
DH
H
HH
10以下
25以上
DW
25以上
3
4
40以上
W
40以上
WW

(3) 木質系開き戸

申請仕様の寸法を表３に示す。

表３　申請仕様の木質系開き戸部の寸法

項　　目		申　請　仕　様	
		親子開き	片開き
扉部開口幅	(W)	750～1400 mm	750～900 mm
戸枠幅	(WW)	830～1480 mm	830～980 mm
扉幅	(DW)	(DW1) 759～909 mm (DW2) 509 以下mm	774～924 mm
扉厚	(DT)	40 mm以上	40 mm以上
扉部開口高さ	(H)	1800～2400 mm	1800～2400 mm
戸枠高さ	(HH)	1840～2440 mm	1840～2440 mm
扉高さ	(DH)	1803～2403 mm	1803～2403 mm
枠見込み寸法	(w)	130 mm以上	130 mm以上
ガラスの大きさ (GW×GH)		扉１枚につき 35％（面積比）以下	
周壁部の仕様	(下部)	湿式工法（モルタル等）	
	(三方)	湿式工法（モルタル等） 乾式工法（繊維混入けい酸カルシウム板等）	

(4) 鋼製折りたたみ戸

申請仕様の寸法を表４に示す。

共通事項

1）$DW_{1\sim4}$ は、W≧750 のもとで表4の範囲内とする。

2）$DW_1 \geqq DW_2+65$

$DW_3 \geqq DW_4+65$

3）$DW_0=DW_{1\sim4}$ 全体の戸幅　において以下の範囲とする。

片開きの場合

$750+85 \leqq DW_0$

両開きの場合

$750+(85\times2-6) \leqq DW_0$

4）$W\times H \leqq 30m^2$

5）戸先側の扉のどちらか（D_2又はD_4）は、3㎡未満とする。

表４　申請仕様の寸法

項　　目		申　請　仕　様	
片開き			
扉幅　(DW)		DW_1	DW_2
		415～4784mm	300～2542mm
扉厚　(DT)		55mm以上	
開口幅　(W)		750～5000mm	
戸枠幅　(WW)		830～5080mm	
扉高さ　(DH)		1800～6000mm	
開口高さ　(H)		1800～6000mm	
戸枠高さ　(HH)		1840～6040mm	
枠見込み寸法　(w)		100mm以上	
周壁部の仕様	(下部)	湿式工法（モルタル等）	
	(三方)	湿式工法（モルタル等） 乾式工法（繊維混入けい酸カルシウム板等）	
両開き			
扉幅　(DW)		DW_1，DW_3	DW_2，DW_4
		425～5419mm	300～2860mm
扉厚　(DT)		55mm以上	
開口幅　(W)		1000～6000mm	
戸枠幅　(WW)		1080～6080mm	
扉高さ　(DH)		1800～6000mm	
開口高さ　(H)		1800～6000mm	
戸枠高さ　(HH)		1840～6040mm	
枠見込み寸法　(w)		100mm以上	
周壁部の仕様	(下部)	湿式工法（モルタル等）	
	(三方)	湿式工法（モルタル等） 乾式工法（繊維混入けい酸カルシウム板等）	

使用条件：戸先側の扉（次図におけるＢ扉）の有効開口幅が750mm未満の場合は、避難開口Ｗを750mm以上確保する為に、フラット金物を使用して２枚の扉を同時に開放する。

2枚折り戸フラット金物付　全体図

（フラット金物の作動機構の説明）

①ドアキャッチと併用した場合、A扉（親扉）が閉鎖位置にくるとB扉（子扉）が閉まる。

②A扉（親扉）・B扉（子扉）が、閉鎖状態になると、折り戸用フラット金物により両扉が自動的にロック連結される。

③ロック連結された状態でB扉（子扉）を押すと、A扉（親扉）も一緒に開き、一枚扉と同じ状態になる。

④折り戸用フラット金物のフックを倒すことで、ロックが解除され、扉を折りたたむことが出来る。（フックを図の様にフックホルダーで固定する。）

⑤自動リセット機構により、15°以上B扉（子扉）を開けるとフックがフックホルダーより外れ、B扉（子扉）を閉鎖状態に戻すことで、再び扉がロック連結される。

4.防火戸部の閉鎖機構の仕様

(1)鋼製開き戸（折りたたみ戸、ガラス入り戸を含む）

鋼製開き戸部の閉鎖機構の仕様を表５から表７に示す。

表５　ドアクローザーの場合

扉　幅 DW	扉高さ DH	ドア質量	閉鎖角速度	閉鎖金物 設定トルク
773～ 923㎜	1803～2503㎜	93kg以下	0.503　1/ｓ以下	73.5N・m以下
924～1073㎜	1803～2403㎜	103kg以下	0.410　1/ｓ以下	73.5N・m以下

表６　フロアヒンジの場合

扉　幅 DW	扉高さ DH	ドア質量	閉鎖角速度	閉鎖金物 設定トルク
773～ 973㎜	1803～3003㎜	78kg以下	0.262　1/ｓ以下	100.0N・m以下
974～1073㎜	1803～3003㎜	129kg以下	0.262　1/ｓ以下	100.0N・m以下
1074～1223㎜	1803～3003㎜	147kg以下	0.224　1/ｓ以下	100.0N・m以下
1224～1523㎜	1804～3003㎜	183kg以下	0.196　1/ｓ以下	100.0N・m以下
1524～1623㎜	1804～3003㎜	195kg以下	0.174　1/ｓ以下	100.0N・m以下
1624～2223㎜	1804～3003㎜	267kg以下	0.121　1/ｓ以下	100.0N・m以下
2224～3023㎜	1804～2403㎜	291kg以下	0.083　1/ｓ以下	100.0N・m以下
2224～3023㎜	2404～3003㎜	363kg以下	0.075　1/ｓ以下	100.0N・m以下

表7　ヒンジクローザーの場合

扉　幅 DW*	扉高さ DH	ドア質量	閉鎖角速度	閉鎖金物 設定トルク
773～1223mm	1803～3003mm	147kg以下	0.314　1/s 以下	49.7N・m以下
836～1223mm	3004～5003mm	245kg以下	0.224　1/s 以下	125.4N・m以下
1224～1623mm	1804～3003mm	195kg以下	0.196　1/s 以下	70.0N・m以下
1224～1623mm	3004～4003mm	260kg以下	0.157　1/s 以下	125.4N・m以下
1224～1623mm	4004～5003mm	325kg以下	0.121　1/s 以下	125.4N・m以下
1624～1823mm	1804～3003mm	219kg以下	0.157　1/s 以下	81.5N・m以下
1624～1823mm	3004～5003mm	365kg以下	0.121　1/s 以下	125.4N・m以下
1824～2223mm	1804～3003mm	267kg以下	0.121　1/s 以下	81.5N・m以下
1824～2223mm	3004～5003mm	445kg以下	0.092　1/s 以下	125.4N・m以下
2224～2623mm	1804～2503mm	263kg以下	0.098　1/s 以下	81.5N・m以下
2224～2623mm	2504～3003mm	315kg以下	0.092　1/s 以下	100.0N・m以下
2224～2623mm	3004～4003mm	420kg以下	0.075　1/s 以下	125.4N・m以下
2624～3023mm	1804～2503mm	303kg以下	0.083　1/s 以下	91.0N・m以下
2624～3023mm	2504～3003mm	363kg以下	0.075　1/s 以下	100.0N・m以下
2624～3023mm	3004～4003mm	484kg以下	0.060　1/s 以下	125.4N・m以下
3024～3084mm	1804～2003mm	283kg以下	0.068　1/s 以下	100.0N・m以下
3024～3084mm	2004～3003mm	424kg以下	0.060　1/s 以下	125.4N・m以下

＊　折りたたみ戸の場合には、戸先側の扉の扉幅

(2) 木質系開き戸

木質系開き戸部の閉鎖機構の仕様を表８に示す。但し、親子扉については、子扉は、通常、常閉状態にあり、自閉装置はとりつかない。

表８　申請仕様の閉鎖機構の仕様（ドアクローザーの場合）

扉　幅 DW	扉高さ DH	ドア質量	閉鎖角速度	閉鎖金物 設定トルク
759～924mm	1803～2004mm	55kg以下	0.620　1/s 以下	44.1N・m以下

4. 申請仕様の主構成材料：

(1) 鋼製開き戸（ガラスなし）

申請仕様のうち、鋼製開き戸（ガラスなし）部の主構成材料を表９に示す。

表９　申請仕様の鋼製開き戸（ガラスなし）部の主構成材料　（単位：mm）

項　目	申　請　仕　様
上　枠	溶融亜鉛めっき鋼板（厚さ1.6）　JIS G 3302
下　枠	ステンレス　（厚さ1.5）SUS304　JIS G 4305
たて枠	溶融亜鉛めっき鋼板（厚さ1.6）　JIS G 3302
表面材	溶融亜鉛めっき鋼板（厚さ1.6）　JIS G 3302
力　骨	溶融亜鉛めっき鋼板（厚さ2.3）　JIS G 3302
中　骨	溶融亜鉛めっき鋼板（厚さ1.6）　JIS G 3302
気密材	ＥＰＤＭまたはクロロプレンゴム

(2) ガラス入り鋼製開き戸

申請仕様のうち、ガラス入り鋼製開き戸部の主構成材料を表１０に示す。

表１０　申請仕様のガラス入り鋼製開き戸部の主構成材料　（単位：mm）

項　目	申　請　仕　様
上　枠・たて枠	溶融亜鉛めっき鋼板（厚さ1.6）　JIS G 3302 ステンレス鋼板　（厚さ1.5）SUS304、SUS316　JIS G 4305
下　枠*	ステンレス鋼板　（厚さ1.5）SUS304、SUS316　JIS G 4305
定規縁・ 無目・方立	溶融亜鉛めっき鋼板（厚さ1.6）　JIS G 3302 ステンレス鋼板　（厚さ1.5）SUS304、SUS316　JIS G 4305
たて框・上框 ・下框	溶融亜鉛めっき鋼板（厚さ1.6）　JIS G 3302 ステンレス鋼板　（厚さ1.5）SUS304、SUS316　JIS G 4305
力　骨	溶融亜鉛めっき鋼板（厚さ2.3）　JIS G 3302
中　骨	溶融亜鉛めっき鋼板（厚さ1.6）　JIS G 3302
ガラス	網入板ガラス（厚さ6.8又は10）JIS R 3204、 又は、耐熱板ガラス（低膨張防火ガラス、耐熱強化ガラス、又は、耐熱結晶化ガラス）、 又は、上記の網入板ガラス又は耐熱板ガラスを組み入れた合わせガラス（JIS R 3205）又は複層ガラス（JIS R 3209）
気密材	ＥＰＤＭまたはクロロプレンゴム

＊ 下枠の無い仕様もある。

(3) 木質系開き戸

申請仕様のうち、木質系開き戸部の主構成材料を表１１に示す。

表１１　申請仕様の木質系開き戸部の主構成材料　（単位：mm）

項　目	申　請　仕　様
上　枠	木質材料　※１
たて枠	又は、溶融亜鉛めっき鋼板（厚さ 1.6）　JIS G 3302
下　枠*	溶融亜鉛めっき鋼板（厚さ 1.6）　JIS G 3302 又は、スレンレス鋼板（厚さ 1.5）SUS304･316　JIS G 4305
表面材	木質材料　※１　／　防火性能を有する材料　※２
芯　材	木質材料　※１　／　防火性能を有する材料　※２
周　材	木質材料　※１
定規縁	木質材料　※１
ガラス	網入板ガラス（厚さ6.8又は10）JIS R 3204、 又は、耐熱板ガラス（低膨張防火ガラス、耐熱強化ガラス、又は、耐熱結晶化ガラス）、 又は、上記の網入板ガラス又は耐熱板ガラスを組み入れた合わせガラス（JIS R 3205）又は複層ガラス（JIS R 3209）
気密材	ＥＰＤＭまたはクロロプレンゴム

＊ 下枠の無い仕様もある

※１：木質材料とは以下を示す。

（ａ）集成材

日本農林規格に規定する集成材（農林省告示第 601 号・農林水産省告示第 112 号）、構造用集成材（農林水産省告示第 111 号）もしくはこれらと同等以上の品質のもの。

（ｂ）人工乾燥木材

日本農林規格に規定する針葉樹の構造用製材（農林水産省告示第 143 号・農林水産省告示第 1381 号）、針葉樹の造作用製材（農林水産省告示第 1084 号・農林水産省告示第 1381 号）、針葉樹の下地用製材（農林水産省告示第 1085 号・農林水産省告示第 1381 号）、広葉樹製材（農林水産省告示第 1086 号・農林水産省告示第 1381 号）のうち「Ｄ１５」等級以下の含水率の人工乾燥木材もしくはこれと同等以上の品質のもの。

（ｃ）合板

日本農林規格に規定する普通合板（農林省告示第 383 号・農林水産省告示第 1099 号）、難燃合板（農林省告示第 1869 号・農林水産省告示第 1099 号）、特殊合板（農林省告示第 1373 号・農林水産省告示第 1099 号）、構造用合板（農林省告示第 1371 号・農林水産省告示第 1253 号）もしくはこれらと同等以上の品質のもの。

（ｄ）平行合板

日本農林規格に規定する単板積層材(農林水産省告示第 106 号･農林水産省告示第 1381 号)、構造用単板積層材（農林水産省告示第 1443 号・農林水産省告示第 1494 号）もしくはこれと同等以上のもの。

（ｅ）構造用パネル

日本農林規格に規定する構造用パネル（農林水産省告示第 360 号・農林水産省告示第 700 号）もしくはこれと同等以上のもの。

（ｆ）パーティクルボード

JIS A 5908 （パーティクルボード）に規定するパーティクルボードもしくはこれと同等以上の品質のもの。

（ｇ）中質繊維板

JIS A 5905（繊維板）に規定する中質繊維板もしくはこれと同等以上の品質のもの。

※２：防火性能を有する材料とは以下を示す。

（ｈ）繊維混入けい酸カルシウム板

JIS A 5430（繊維強化セメント板）に規定するけい酸カルシウム板もしくはこれと同等以上

の品質のもの。

（ｉ）せっこうボード

JIS A 6901（せっこうボード製品）に規定するせっこうボード、強化せっこうボードもしくはこれと同等以上の品質のもの。

（ｊ）ロックウールボード

JIS A 9504（人造鉱物繊維保温材）に規定するロックウール保温板もしくはこれと同等以上の品質のもの。

（ｋ）（ｈ）～（ｊ）の他、建築基準法で定める準不燃材料またはこれらと同等以上の性能を有するもの。

(4) 鋼製折りたたみ戸

申請仕様のうち、鋼製折りたたみ戸部の主構成材料を表１２に示す。

表１２　申請仕様の鋼製たたみ戸部の主構成材料　（単位：mm）

項　目	申　請　仕　様
上　枠	溶融亜鉛めっき鋼板（厚さ1.6）　JIS G 3302
下　枠	ステンレス　(厚さ1.5) SUS304　JIS G 4305
たて枠	溶融亜鉛めっき鋼板（厚さ1.6）　JIS G 3302
表面材	溶融亜鉛めっき鋼板（厚さ1.6）　JIS G 3302
力　骨	溶融亜鉛めっき鋼板（厚さ2.3）　JIS G 3302
中　骨	溶融亜鉛めっき鋼板（厚さ1.6）　JIS G 3302
気密材	ＥＰＤＭまたはクロロプレンゴム

6. 申請仕様の副構成材料：

(1) 鋼製開き戸（ガラスなし）

申請仕様のうち、鋼製開き戸部の副構成材料を表１３に示す。

表１３　申請仕様の開き戸部の副構成材料　（単位：mm）

項　　目	申　請　仕　様
アンカー	溶融亜鉛めっき鋼板（厚さ2.3）　JIS G 3302 ピッチ：上下600以下、縦600以下
錠前（ケースロック（ラッチ付き））	鋼、ステンレス鋼、等
丁　番	ステンレス
ピボットヒンジ	ステンレスカバー付　鋳鉄
ヒンジクローザー	鋳鉄
ドアクローザー（ストッパーなし）	アルミダイキャスト
ドアクローザー取付用補強板	鋼、ステンレス鋼、等
自動フランス落し（両開きのみ）	ステンレス等
閉鎖順位調整器（両開きのみ）	ステンレス等
気密材	ＥＰＤＭまたはクロロプレンゴム

ドアクローザー及びヒンジクローザーの開放力は、開き戸の先端（避難用子扉がある場合は子扉の先端）部分で、50N以下とする。

(2) ガラス入り鋼製開き戸

申請仕様のうち、鋼製開き戸部の副構成材料は表１４に示す。

表１４　申請仕様の鋼製開き戸部の副構成材料　（単位：mm）

項　　目	申　請　仕　様
アンカー	溶融亜鉛めっき鋼板（厚さ2.3）　JIS G 3302 ピッチ：上下600以下、縦600以下
丁　番	ステンレス
ドアクローザー（ストッパーなし）	アルミダイキャスト
自動フランス落し（両開きのみ）	ステンレス等
ガラス押さえ（シーリング材）	JIS A 5758（建築用シーリング材）に規定するグレイジング用シーリング材で、「発熱特性試験」において、着炎時間が 100 秒以上かつ温度時間面積（℃・分）が 50 以下のものとする。
さび止め塗料	鉛酸カルシウムさび止めペイント　JIS K 5629　塗布量　0.1kg／m^2

ドアクローザー及びヒンジクローザーの開放力は、開き戸の先端（避難用子扉がある場合は子扉の先端）部分で、50N以下とする。

(3) 木質系開き戸部

申請仕様のうち、木質系開き戸部の副構成材料を表１５に示す。

表１５　申請仕様の木質系開き戸部の副構成材料　（単位：mm）

項　　目	申　請　仕　様
錠　前（ケースロック（ラッチ付き））	鋼、ステンレス鋼、等
丁　番	鋼、ステンレス鋼、黄銅、等
ドアクローザー（ストッパーなし）	アルミダイキャスト
フランス落し（親子開きのみ）	ステンレス等
加熱発泡材	黒鉛（グラファイト）系
グレイジング用シーリング材	JIS A 5758（建築用シーリング材）に規定するグレイジング用シーリング材で、「発熱特性試験」において、着炎時間が 100 秒以上かつ温度時間面積（℃・分）が 50 以下のものとする。
仕上塗料	ポリウレタン樹脂系　塗布量：0.1kg/m²以上
さび止め塗装	鉛酸カルシウムさび止めペイント　JIS K 5629　塗布量：0.1kg/m²以上

ドアクローザー及びヒンジクローザーの開放力は、開き戸の先端（避難用子扉がある場合は子扉の先端）部分で、50N 以下とする。

(4) 鋼製折りたたみ戸

申請仕様のうち、鋼製折りたたみ戸部の副構成材料を表１６に示す。

表１６　申請仕様の折りたたみ戸部の副構成材料　（単位：mm）

項　　目	申　請　仕　様
アンカー	溶融亜鉛めっき鋼板（厚さ2.3）　JIS G 3302　めっき付着量:F12, Z12 ピッチ：上下600以下、縦600以下
錠　前 ケースロック（ラッチ付）	鋼、ステンレス鋼、等
ヒンジクローザー	鋳鉄
ドアキャッチ、 ドアキャッチフック	鋼、ステンレス鋼、等
電磁レリーズローラ受座	鋼、ステンレス鋼、等
閉鎖順位調整器（両開きのみ）	ステンレス等
錆止め塗料	鉛酸カルシウム錆止めペイント　JIS K 5629　塗布量:0.10kg/m²
フラット金物	ステンレス等
自動フランス落し（両開きのみ）	ステンレス等

ヒンジクローザーの開放力は、開き戸の先端（避難用子扉がある場合は子扉の先端）部分で、50N以下とする。

7. 構造説明図

(1) 鋼製開き戸（ガラスなし）部の構造説明図：

鋼製開き戸（ガラスなし）部の構造説明図を図 8～19 に示す。

単位 mm

室内側立面図（片開き）

室内側立面図（両開き）

室外側立面図（片開き）

室外側立面図（両開き）

図8 構造説明図（常時閉鎖　片開き、両開き）

単位 mm

下枠付

鉛直断面図

水平断面図

両開き召合せ　　両開き召合せ

※評価対象外

図9 構造説明図（常時閉鎖　片開き、両開き）

単位 mm

鉛直断面図

水平断面図

※評価対象外

図10 構造説明図（常時閉鎖　片開き、両開き）

図11 構造説明図（随時閉鎖　片開き）

図12 構造説明図（随時閉鎖　片開き）

単位　mm

鉛直断面図

水平断面図

図13 構造説明図（随時閉鎖　片開き　避難口無し）

単位 mm

鉛直断面図

水平断面図

図14 構造説明図（随時閉鎖　片開き　避難口付き）

単位　mm

鉛直断面図

水平断面図

図15 構造説明図（随時閉鎖　片開き　避難口付き）

室内側立面図

室内側立面図（避難口付）

図16 構造説明図（随時閉鎖　両開き）

室外側立面図

室外側立面図（避難口付）

図17 構造説明図（随時閉鎖　両開き）

単位　mm

（避難口戸）

鉛直断面図

水平断面図

図18 構造説明図（随時閉鎖　両開き）

単位 mm

（避難口戸）

鉛直断面図

水平断面図

図19 構造説明図（随時閉鎖　両開き）

(2) ガラス入り鋼製開き戸部の構造説明図：

ガラス入り鋼製開き戸部の構造説明図を図 20～23 に示す。

単位　mm

室外側立面図

室内側立面図

図20 構造説明図（片開き）

単位　mm

図21　構造説明図（片開き）

単位　mm

室外側立面図

室内側立面図

図22　構造説明図（両開き）

単位　mm

図23　構造説明図（両開き）

(3) 木質系開き戸部の構造説明図：
木質系開き戸部の構造説明図を図 24～26 に示す。

単位　mm

図24　構造説明図

単位 mm

図25　構造説明図（片開き）

単位　mm

図26　構造説明図（親子開き）

(4) 鋼製折りたたみ戸部の構造説明図：

鋼製折りたたみ戸部の構造説明図を図 27～38 に示す。

図27　構造説明図（片開き）

単位 mm

鉛直断面図

垂直断面図

図28　構造説明図（片開き）

単位 mm

鉛直断面図

室外側

室内側

垂直断面図

図29　構造説明図（片開き）

図30　構造説明図（片開き）

図３１　構造説明図（両開き）

単位 mm

図32　構造説明図（両開き）

単位 mm

図33　構造説明図（両開き）

単位 mm

図34　構造説明図（両開き）

単位 mm

室内側立面図

室外側立面図

図35　構造説明図（両開き）

図36　構造説明図（両開き）

図37　構造説明図（両開き）

図38　構造説明図（両開き）